

各種委員会の活動状況

1. 委員会の役割とテーマ設定

調査研究・特別委員会は教育現場の要請に応え、安曇野市全体の視野で研究・実践を積み重ねる。広報委員会は、全教職員が親しみを持てる情報発信をする。

各委員会のテーマは、前年度の成果や直面する教育課題を踏まえて個別に設定し、活動の明確化と資料整理を進める。また、会員の主体的な意欲を尊重し、「木村素衛委員会」をはじめ、構成人数などにも柔軟性を持たせて運営する。

2. 連携と進捗管理

調査研究の方向性は「正副委員長会」で確実に共有する。各委員会の進捗状況は「理事会」「常任委員会」「総会」「学校代表者会」へ定期的に報告し、組織全体での課題共有と幅広い助言の獲得を通じて、より充実した委員会運営を目指します。

3. 各種委員会 推進計画

- ・ 4/21(火)【第1回各種委員会正副委員長会】
 - ◇委員会の運営等について説明
 - ◇委員会年間活動計画の立案
- ・ 5/8(金)【第3回常任委員会】【定時総会】◇各種委員会の構成と年間活動計画について説明
- ・ 5/11(月)～12月末 ◇各委員会による調査研究等活動の実施
- ・ 11/ 頃～12/18(金) 各種委員会でまとめ、活動の成果と反省、来年度の展望を話し合う。
 - ◇「各種委員会の活動成果と来年度への展望」◇「各種委員会活動・調査研究のあしあと」原稿提出
- ・ 2/16(火) 第2回各種委員会正副委員長会】
 - ◇各種委員会の活動反省と来年度への展望の報告。
 - ◇各種委員会運営全体についての意見・要望の収集。

4. 各委員会の活動内容

【調査研究委員会】 4委員会

環境の変化に伴い多様化する教育課題へ、スピード感をもって柔軟に対応するため、委員の課題意識に沿った調査研究を行う。「新たな学校づくり・授業づくり」「特別支援教育の充実」「AIの活用」などの喫緊の課題について、市外の先進校・先進地域への視察を含む調査活動を展開し、学校現場での活用を目指して積極的に発信する。※なお、今年度、図書館教育委員会および環境教育委員会は休止。

(1) 教育課題委員会（特別支援教育）

今年度テーマ：現在検討中

本年度発足のため、委員会で活動内容を検討して活動を行う。

(2) 教育課題委員会（働き方改革・探究）

今年度テーマ：「先生の笑顔が、教室を照らす ウェルビーイングから始まる学校改革」

県内外の視察をヒントに委員所属校で実践してみる。視察報告、お試し実践を教育会 HP で紹介する。

本年度発足のため、委員会で活動内容を検討して活動を行う。

(3) 人権教育委員会

今年度テーマ：「豊かな人権感覚を育てるための指導のあり方」

本年度は、実践資料集に追加する資料の内容や様式のユニバーサルデザイン化を検討し、各校での活用を促す。また、各校の人権教育に関するアンケートを実施し、強調月間等で扱う教材や講演会、映像資料などの情報を収集・集約する。さらに、作成した追加資料を DVD 等で各校に配付するとともに、より有効な配付方法についても研究を進める。

(4) 青年教師委員会

今年度テーマ：「安曇野を肌で感じよう ・安曇野の農業を体験し、生産の喜びや難しさを感じる体験の中で生産者の思いに触れ、子どもたちに繋げる」

若い世代を中心とした「主体的に参加・参画したい」という意欲を大切に、青年教師の力量向上や教師間のネットワーク作りに繋がる研修・講座の企画・運営を行う。

【特別委員会】5委員会

教育現場の要請を主体的に受け止めて研究実践を行い、郷土の研究調査及び教育資料の収集を行う。

(1) 社会科資料集編集委員会

今年度テーマ：「安曇野市子どもたちが、自分たちの住んでいる地域を体験的に学習できる社会科資料集の編集をする。」

郷土の研究調査や教育資料の収集を進め、最新の情報やデータを反映した社会科資料集の編集を行う。写真、図版、学習カードのデータ化に努め、授業で即座に使える資料の蓄積を図る。また「安曇野巡検」では、地域の産業や歴史の基盤である複合扇状地、河川、用水に関する場所や、現代的な課題を取り入れた地域を巡ることで教育素材を確かめ、日々の社会科の授業づくりに役立てる。

※安曇野巡検 10/24

(2) 木村素衛

今年度テーマ：「木村素衛先生の資料を研究し、教員の資質向上のための今日的な活用のために資料を整理していく。」

郷土に縁がある哲学者木村素衛先生の資料（日記）について、大学教授とともに木村先生の礎を読み解いていき、研修に活用できるよう資料を整理していく。若い会員も含めた多くの会員が、木村先生の哲学から今を生きる教師としての「子ども感」を学べる研究を進めていく。

(3) 郷土文化財センター運営委員会

今年度テーマ：「先輩方の努力と教育、調査研究への情熱により収集された郷土文化財センター所蔵品は、学術的にも極めて貴重なものばかりである。これを未来に引き継ぐため、適切な保存管理とその有効活用の在り方を探る。」

貴重な所蔵品を未来へ引き継ぐため、資料整備や目録づくり、リーフレットの改訂を行い、常設展示やセンターの効率的な運営方法について研究する。調査・研究の成果は、会報の「郷土の文化財コーナー」への毎号掲載や解説資料の作成、ホームページでの公開を通じて広く市民へ発信する。また、安曇野市豊科郷土博物館（市生涯学習課）の協力を得て、展覧会を企画する。

(4) 展覧会運営委員会

今年度テーマ：「科学展・書道展・美術展・ものづくり展を開催することを通して、市内の児童・生徒の自然事象への興味・関心を高めるとともに、表現、製作活動への意欲の高揚をはかる。」

科学展・書道展・図工美術展・ものづくり展を開催することを通して、市内の児童生徒の自然事象への興味・関心を高めるとともに、表現・制作活動への意欲の高揚を図る。

(5) 会誌委員会

今年度テーマ：「会誌「安曇野教育第21号」を発行し、教育会の機関誌としての役割を担って、会員の教育実践・研究を会員相互及び地域へ発信する。」

会員相互の教育実践・研修成果の発表や地域への発信の場として、会誌『安曇野教育 第21号』を（年1回）発刊する。編集にあたっては年度の重点課題を取り上げ、会員の声や意見、研究報告、随想など幅広い内容を掲載するとともに、新企画にも配慮する。また、教職員研修の情報共有を迅速に行うため、県外視察報告が該当年度内に掲載できるよう計画的に原稿を依頼する。なお、地域の文化遺産を紹介するシリーズ「安曇野遺産」も継続して掲載する。

【広報委員会】2委員会

広報委員会は、本教育会の広報に関する部門を受けもち、会員のみならず全教職員が親しみをもてるような内容の情報発信を担当する。

(1) 会報委員会

今年度テーマ：「本教育の行事予定や事業内容の様子などについて適宜掲載し、情報紙・機関紙としての会報「安曇野教育」の編集・発行を行う。」

会報『安曇野教育』を年3回編集・発行し、本教育会の行事や各種委員会、同好会の活動の様子を広く会員に知らせることで、広報としての役割の充実に努める。編集にあたっては年度の重点を取り上げ、記録性を重視しながらも、新企画を取り入れるなど新鮮さにも配慮し、機関紙としての使命を果たす。

(2) 情報委員会

今年度テーマ：「安曇野市教育会ホームページの更新 情報モラル教育の推進、情報モラル学習資料の更新ホームページの構成および更新内容の見直し」

ホームページの随時更新を中心に活動し、理事会・各種委員会・同好会の活動の様子や資料をタイムリーに掲載する。あわせて「情報教育指導マニュアル」の紹介や情報公開のための「ガイドライン」の整備、情報モラル学習資料の更新を行う。また、引き続き市内各校のホームページの確認やネットパトロールを実施し、安全な情報活用の推進をサポートする。